

# 太陽光発電「扇風機回った！」



太陽光発電で扇風機が回ることを確認する児童たち。浜松市中区の鴨江小で

## 中区 鴨江小児童 授業で体験

浜松市鴨江小学校（中区）で、五年生が未来エネルギーの一つ「太陽光」について学ぶ授業があった。ガス事業や次世代エネルギー事業などを展開するエネジシ（同区）の社員が講師を務めた。

エネジシの社員たちは、これまでの石油、石炭エネルギーの資源は限りがあり、また地球温暖化にも影響を及ぼすことから、太陽光発電が「再生可能エネルギー」として注目を浴びている」と説明した。

その後、児童たちは、用意されたソーラーパネルを取り付ける作業を体験。電源につないだ扇風機や乗馬マシンが実際にソーラーパネルが吸収した太陽光で動かを実験する場面もあり、実際に扇風機が回ったり乗馬マシンが動いたりすると、児童たちはうれしそうに拍手をした。

岡部愛子さん（右）は「太陽光発電は聞いたことはあったけど、体感するのは初めて。太陽光で乗馬マシンが動き、ソーラーパネルをブルーシートで覆うとマシンの動きが止まったので、すごいと思った」と話した。（細谷真里）